

□主な内容

【「エコレールプロジェクト」は「COOL CHOICE」と連携します！！～移動はエコな鉄道で～】

国土交通省の「エコレールプロジェクト」と、環境省の「COOL CHOICE」が、合同でポスターを作成しました。今後、全国の駅や電車内に掲出される予定です。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo04\\_hh\\_000066.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo04_hh_000066.html)

【平成 30 年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰は 5 団体が受賞】

今回の受賞団体は、地域の実情に応じた創意工夫による持続可能な公共交通体系の実現など、他の地域に先駆けた意欲的な取組により、公共交通の利用の気運が醸成され、利用者数の増加につながったことが高く評価されました。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000042.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000042.html)

目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 145 回)

●「都市内バス交通の現状をふりかえる」

【岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授 倉内文孝】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 145 回)

●「さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまはーと～について」

【さいたま市都市局都市計画部自転車まちづくり推進課 自転車政策係 勝山修平】

3. ニュース／トピック

●「エコレールプロジェクト」は「COOL CHOICE」と連携します！！【国土交通省】

●平成 30 年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰は 5 団体が受賞【国土交通省】

●「働き方改革による CO<sub>2</sub> 削減効果」簡易算定ツールを作成【環境省】

●環境省とタイムズ 24 株式会社が「COOL CHOICE」の普及啓発で連携～カーシェア利用者を対象とした「エコドライブ選手権 2018」の開催によるエコドライブの推進～【環境省】

●「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2018」の開催【環境省、全日本学生自動車連盟】

●東北初、モーダルシフトの効率化計画を認定【東北運輸局】

●「EV シフトに対応した産業と地域づくり」に係る連携に関する協定を締結【岡山県、三菱自動車】

●電動バイクの普及促進事業を開始【東京都】

●敦賀市で再エネ水素インフラ設備を設置—燃料電池車への充填、建物や電気自動車への電力や熱の提供も可能—【敦賀市、東芝エネルギーシステムズ株式会社】

- 「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2018」(2018/9/16-22) 全国 11 都市で開催決定！【一般社団法人カーフリーデー・ジャパン】
- 福井鉄道とヤマト運輸が路線バスで宅急便を輸送する「客貨混載」を開始【福井鉄道、ヤマト運輸】
- モーダルシフト最優良事業者賞の募集開始【一般社団法人 日本物流団体連合会】
- AI 利用で燃費性能高めた大型ハイブリッドトラックを来年夏に発売【日野自動車】
- C40・国際環境団体、ゼロ排出車両の導入を呼びかけ【世界大都市気候先導グループ】

#### 4. イベント情報

- 第 26 回 地球環境シンポジウム【2018/9/5-7】
- 第 25 回 ITS 世界会議コペンハーゲン 2018【2018/9/17-21】
- 京都スマートシティエキスポ 2018【2018/10/4-5】
- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2018【2018/10/27-28】
- 平成 30 年度エコドライブシンポジウム【2018/11/28】
- エコプロダクツ 2018【2018/12/6-8】
- 第 16 回 ITS シンポジウム 2018【2018/12/13-14】

#### 5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

---

---

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 145 回)

●「都市内バス交通の現状をふりかえる」

【岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授 倉内文孝】

2013 年 9 月のメルマガ 86 号に「新しい都市内バス交通システム構築をめざして」と題し岐阜市に導入された連節バスの紹介と都市内バス交通システムのあるべき姿について述べさせていただきました。この寄稿から 5 年を経た今、前稿にて述べた内容を鑑みつつここ数年の変化を振り返りたいと思います。

まず、岐阜市の連節バスは 2014 年 3 月に 2 台追加し計 4 台体勢となり、さらに岐阜大学線に加え下岩崎線、さらには土休日のシンボルとしての市内ループ線への導入と広がっており、バスを身近に感じるという一定の目的を達成しているといえます。また、岐阜市統計書よりバス乗車人員数を見てみると、全数は若干減少傾向にあるものの効率化により運行距離も減少しており、距離あたりの乗車人員数ではおよそ平成 20 年比で 1.06 程度となっています。岐阜市内トリップが減少傾向にある中バス利用の減少傾向に歯止めをかけているといえます。

次に、都市内バス交通の現状について。今後の都市内公共交通サービスとして、走行環境および乗車環境、料金体制の整備が重要と前稿では述べました。この点については、残念ながら岐阜市を含め全国的にもそれほど大きな進展はないように思われます。今後の展開に期待したいと思います。

なお、料金体制に関して一点最近気にかかる動きがあります。それは、観光一日乗車券や免許返納者対象の割引制度などにおいて、交通 IC カードではなく現金や紙チケットでの対応が逆に増えている点です。一日乗車券や割引制度は公共交通サービスの利便性を高める上で有効であることは論を俟たないですが、これらの移動データの収集を放棄するのは大きな課題といえるでしょう。交通 IC カードと連携すべきと考えます。世界的に見ると、近年 MaaS (Mobility as a Service) が普及しつつあり、このフレームでは、いかに料金支払いの抵抗を緩和するかが重要な意味をもちます。例えばヘルシンキでは、Whim というポイント制を活用し、毎回の乗車に際する運賃支払いを気にせず月額制で様々な公共交通を利用できるサービスが開始されています。我が国でも、もっと柔軟な料金収集、設定が可能となるようなプラットフォームの構築が急務といえます。

---

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 145 回)

●「さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまはーと～について」

【さいたま市都市局都市計画部自転車まちづくり推進課 自転車政策係 勝山修平】

自転車は、身近で便利な乗り物であるとともに、環境にやさしく、健康増進に役立ち、人々の行動を広げ暮らしを豊かにする大変優れた乗り物です。また、さいたま市は市域が平坦かつコンパクトであることから、自転車が多くの市民に盛んに利用されております。



このような特徴を活かし、さいたま市では平成 28 年 3 月に「さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまはーと～」を策定し、自転車のまちづくりを進めています。

このプランは、「たのしむ」、「まもる」、「はしる」、「とめる」の 4 つの柱で施策を体系化し、「人と環境にやさしい 安全で元気な自転車のまち さいたま」の実現に向け、自転車の活用推進に総合的かつ計画的に取り組んでいくものです。

このプランに基づき、世界最高峰の自転車レースであるツール・ド・フランスの感動と興奮をさいたま新都心で再現する「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」や、自転車通行環境を平成 34 年度までに約 200 キロメートル整備する「自転車ネットワーク整備計画」、原則として市立小学校 4 年生と市立中高 1 年生に自転車の安全教室を実施し、自転車の運転免許証等を交付する「自転車運転免許制度」等、これまで多種多様な施策に取り組んでまいりました。

平成 28 年 12 月に自転車活用推進法が成立、平成 29 年 5 月に同法が施行された後、平成 30 年 6 月には自転車活用推進計画が閣議決定され、今後は国においても、自転車の活用が総合的かつ計画的に推進されていくこととなっています。

さいたま市はこのような状況のなか、今後とも、世界に誇れる「自転車のまち」を目指し、これらの施策をより一層、強力に進めてまいりたいと考えております。

---

### 3. ニュース／トピック

#### ●「エコレールプロジェクト」は「COOL CHOICE」と連携します！！～移動はエコな鉄道で～【国土交通省】

国土交通省が推進している、エコな鉄道をもっとエコにする「エコレールプロジェクト」と、環境省が推進している、低炭素型の「製品」「サービス」「ライフスタイル」など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す新しい国民運動「COOL CHOICE」が、それぞれの取組みの普及啓発を図るため、合同でポスターを作成いたしました。今後、全国 109 の協力鉄道事業者等の駅構内や電車内に掲出される予定です。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo04\\_hh\\_000066.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo04_hh_000066.html)

#### ●平成 30 年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰は 5 団体が受賞【国土交通省】

平成 30 年 7 月 12 日に平成 30 年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰式が行われ、5 団体に表彰状が授与されました。今回の受賞団体は、地域の実情に応じた創意工夫による持続可能な公共交通体系の実現、地域に根ざした息の長い利用促進策の実施、多様な主体との協働による地域の活性化に資する取組の実施など、他の地域に先駆けた意欲的な取組により、公共交通の利用の気運が醸成され、利用者数の増加につながったことが高く評価されました。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000042.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000042.html)

#### ●「働き方改革による CO<sub>2</sub> 削減効果」簡易算定ツールを作成【環境省】

テレワークや長時間労働削減の取組による CO<sub>2</sub> 削減効果を簡易に算定するため作成したものです。【CO<sub>2</sub> 削減につながる取組メニュー】と【CO<sub>2</sub> 削減効果のまとめ】からなっており、【CO<sub>2</sub> 削減につながる取組メニュー】には、実際に取り組む内容を記入することで、取組の見える化します。【CO<sub>2</sub> 削減効果のまとめ】では、取組メニューに入力した数値から、削減効果が自動的に算出されます。年度ごとに取組内容を入力していくことで、CO<sub>2</sub> 削減効果の経年変化が見える化し、働き方改革による CO<sub>2</sub> 削減効果を検証することが可能です。

【CO<sub>2</sub> 削減につながる取組メニュー】には、「通勤方法を変更する」（車通勤から鉄道通勤に変えるなど）、「テレワーク・自宅作業を実施する」という項目も用意されており、例えば前者では従業員ごとに車から鉄道、バスから自転車など通勤手段の変更も反映できます。

<http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/co2.html>

#### ●環境省とタイムズ 24 株式会社が「COOL CHOICE」の普及啓発で連携～カーシェア利用者を対象とした「エコドライブ選手権 2018」の開催によるエコドライブの推進～【環境省】

環境省では、低炭素型の「製品」「サービス」「ライフスタイル」など、地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」を、関係省庁や様々な企業・団体・自治体等と連携しながら推進しています。

燃費の削減など、環境負荷の軽減に配慮した自動車使用の取組である「エコドライブ」も「COOL CHOICE」の取組のひとつです。

この度、パーク 24 株式会社が COOL CHOICE に賛同し、グループ会社でカーシェアリングサービスを展開するタイムズ 24 株式会社がエコドライブ選手権を開催するなど、夏の行楽シーズンにおけるエコドライブの推進を図っています。

<http://www.env.go.jp/press/105810.html>

●「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2018」の開催【環境省、全日本学生自動車連盟】

エコドライブの普及による地球温暖化対策推進の呼び掛けを目的とした「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2018」が 8 月 20 日に鈴鹿サーキットにて開催されました。

本大会は、地球温暖化や環境問題に対して積極的に取り組んでいる全日本学生自動車連盟及び加盟校自動車部、さらには日頃から「エコドライブ」を熱心に推進している企業・団体が、地球温暖化防止のための「エコドライブ」の知識や技術を習得することを目的としており、参加チームが車種ごとに鈴鹿サーキット国際レーシングコースを走行し、タイムと消費エネルギーの少なさをポイント制で競います。

競技車両は、日本を代表する燃費性能に優れた車両を使用し、参加者に対して低炭素社会づくりを担う優れた環境技術を体感してもらうこととしています。

<http://www.env.go.jp/press/105833.html>

●東北初、モーダルシフトの効率化計画を認定【東北運輸局】

国土交通省は、全農物流株式会社等から申請のありました総合効率化計画について、改正物流総合効率化法に基づき、8 月 1 日付けで認定しました。

認定された計画は、岩手県八幡平市に集められた生乳を愛知県内の乳業メーカーに、これまでトラックで運送していましたが、一部区間(仙台港～名古屋港)をフェリーでの運送に変更(モーダルシフト)することより、トラックドライバーの運転時間の削減や環境負荷(二酸化炭素排出量)の低減を図るものです。

総合効率化計画の認定は、モーダルシフト推進事業における運行経費補助要件の一つになっています。

<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/puresu/puresu/kk180801.pdf>

●「EV シフトに対応した産業と地域づくり」に係る連携に関する協定を締結【岡山県、三菱自動車】

三菱自動車は、岡山県と「EV シフトに対応した産業と地域づくり」に係る連携に関する協定を締結しました。同社が強みを持つ電気自動車(EV)及びプラグインハイブリッド電気自動車(PHEV)に関して双方が保有する資源を有効に活用し、同県における EV シフトに対応した産業振興と地域づくりに共同で取り組みます。

協定では、(1)県内企業のEV・PHEVに関する新技術及び新製品の開発支援に関すること(2)EVシフト対応に向けた県内企業への積極的な情報提供に関すること(3)EV・PHEVの普及啓発に関すること(4)その他の事項に関連し、地域の活性化につながることを、の4つを主な取組事項としています。

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/newsrelease/2018/detail5229.html>

#### ●電動バイクの普及促進事業を開始【東京都】

東京都は、2030年までに温室効果ガスを2000年比で30%削減する目標を掲げており、運輸部門では60%削減することとしています。また、CO<sub>2</sub>を排出しない環境先進都市「ゼロエミッション東京」を目指し、電気自動車等のゼロエミッションビークルの普及を進めています。

そのため、走行時にCO<sub>2</sub>等の排出ガスを出さない電動バイクの普及促進に向けて、事業者向けに新たな補助の申請受付を開始しました。この事業は、2018年度から2022年度までの5年間実施します。

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2018/07/31/08.html>

#### ●敦賀市で再エネ水素インフラ設備を設置—燃料電池車への充填、建物や電気自動車への電力や熱の提供も可能—【敦賀市、東芝エネルギーシステムズ】

福井県敦賀市と東芝エネルギーシステムズ株式会社は、水素サプライチェーン構築に関する基本協定の締結を行いました。今年度より2021年度まで、敦賀市内で実用化にむけた水素サプライチェーン構築の検討を行います。今回のサプライチェーン構築は敦賀市の「敦賀市産業間連携推進事業費補助金」を活用して行います。

今回設置される水素エネルギー供給システムは、建物に電気や熱を、電気自動車に電力を供給できるシステムと毎日燃料電池車8台分の水素を製造でき、最速3分で満充填ができるシステムから構成されます。消費する電力は近接する太陽光発電システムから供給を受ける予定です。

[https://www.toshiba-energy.com/info/info2018\\_0806.htm](https://www.toshiba-energy.com/info/info2018_0806.htm)

#### ●「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2018」(2018/9/16-22) 全国11都市で開催決定！【一般社団法人カーフリーデー・ジャパン】

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー(EMW & CFD)2018が9/16(日)から9/22(土)までを基準に世界同時に開催されます！今年は、全国11都市の参加(金沢市初参加)となります。日本のEMW & CFDは、今年で15年目となります。今年も移動を切り口に、個人のライフスタイルから地球環境まで考える取組みが満載です！各地で、皆様のご参加をお待ちしています。当日は、ぜひ、公共交通でお越し下さい。

<https://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/e/fca40060a9edd1f80e4ac72a8751ae8c>

●福井鉄道とヤマト運輸が路線バスで宅急便を輸送する「客貨混載」を開始【福井鉄道、ヤマト運輸】

福井鉄道株式会社とヤマト運輸株式会社は、本年8月8日より、ローカル線の路線網維持と物流の効率化による地域住民の生活サービス向上を目的として、福井県越前市と池田町の間で「客貨混載」を開始しました。具体的には、越前市と池田町を結ぶ路線バス車両の一部を改造し、専用のコンテナを設置して宅急便を輸送します。宅急便の積み込みと引き渡しはヤマト運輸のドライバーがそれぞれ行います。

[http://www.yamato-hd.co.jp/news/h30/h30\\_37\\_01news.html](http://www.yamato-hd.co.jp/news/h30/h30_37_01news.html)

●モーダルシフト最優良事業者賞の募集開始【一般社団法人 日本物流団体連合会】

日本物流団体連合会は、第5回「モーダルシフト最優良事業者賞(大賞)」の募集を開始したと発表しました。

この制度は、2003年度から継続してきた「モーダルシフト取り組み優良事業者公表制度」を、物流事業者の取り組みを広く社会へ紹介すること、それに伴いモーダルシフトの重要性をより強く発信していくことを狙い、14年度に改定したもので、今回で5回目の募集となります。

<http://www.butsuryu.or.jp/public/shift/>

●AI利用で燃費性能高めた大型ハイブリッドトラックを来年夏に発売【日野自動車】

日野自動車株式会社は、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、大型トラックにハイブリッドシステムを搭載した「日野プロフィア ハイブリッド」を開発し、2019年夏に発売します。

大型トラックは、高速道路での定速走行が中心で発進・停止の頻度が少ないことから、これまでハイブリッドには不向きとされていました。そこで、車両の質量の大きさゆえに下り坂での減速エネルギーが非常に大きいことに着目し、3D地図情報などをもとにルート上の勾配を先読みし、AIが走行負荷を予測し最適なハイブリッド制御を行うという、世界初の技術を開発・搭載しました。これにより、減速エネルギーを効率的に活用することで、大型トラック特有の走行条件における燃費効果を実現しました。社内試験において、ディーゼル車に対し約15%のCO<sub>2</sub>削減効果が得られています。

[http://www.hino.co.jp/news\\_release/18-017.html](http://www.hino.co.jp/news_release/18-017.html)

●C40・国際環境団体、ゼロ排出車両の導入を呼びかけ【世界大都市気候先導グループ】

国際非営利団体クライメート・グループとC40(世界大都市気候先導グループ)は、電気自動車などのクリーン車両の購入を促進するため「ZEV(無公害車)チャレンジ」を立ち上げました。ニューヨーク、ロンドン、パリなどの各都市や企業などと協力し、電気自動車導入を推進します。

<https://unfccc.int/news/zero-emission-vehicle-challenge-launched>



---

#### 4. イベント情報

●第26回 地球環境シンポジウム

日時:2018年9月5日(水)~7日(金)

場所:長崎大学

主催:土木学会

<http://committees.jsce.or.jp/global/taxonomy/term/5>

●第25回 ITS 世界会議コペンハーゲン 2018

日時:2018年9月17日(月)~21日(金)

場所:Bella Center

主催:ERTICO 欧州委員会

[http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid\\_100/copenhagen-2018/](http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/copenhagen-2018/)

●京都スマートシティエキスポ 2018

日時:2018年10月4日(木)~5日(金)

場所:けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)、国際高等研究所、けいはんなプラザ等

主催:京都スマートシティエキスポ 2018 運営事務局

<https://expo.smartcity.kyoto/outline>

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2018

日時:2018年10月27日(土)~28日(日)

場所:東洋大学 白山キャンパス

主催:くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<https://zenkokuforum.jimdo.com/>

●平成30年度エコドライブシンポジウム

日時:2018年11月28日(水)13:30~16:20

場所:千代田区立内幸町ホール

主催:エコドライブ普及推進協議会(予定)、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

●エコプロダクツ 2018

日時:2018年12月6日(木)~8日(土)

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2018/>

●第 16 回 ITS シンポジウム 2018

日時:2018 年 12 月 13 日(木)～14 日(金)

場所:同志社大学 今出川校地 寒梅館

主催:同志社大学、特定非営利活動法人 ITS Japan

[http://www.its-jp.org/event/its\\_symposium/16th2018/](http://www.its-jp.org/event/its_symposium/16th2018/)

---

## 5. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ  
<http://www.green-m.jp>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！  
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！  
配信申込はこちらから  
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！  
[http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon\\_offset/carbonoffset\\_system.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html)
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！  
[http://www.ecomo.or.jp/environment/nev/nev\\_top.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/nev/nev_top.html)
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！  
(日本語版)  
<http://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>  
(英語版)  
<http://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>
- 記事募集中！  
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。  
EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecomor.jp](mailto:magazine@ecomor.jp) (担当: 熊井、中道)

---

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局  
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>